

【前期第七問】

オウム真理教の元信者甲は、A と共に、母親を連れ出そうと教団施設内に入ったところ、教団関係者に見つかって取り押さえられた。そのまま、教団施設内の一室に連行され、教祖 X や教団幹部 Y・Z らに前手錠をかけられてガムテープで目隠しされた上、頭部にビニール袋を被せられ、X の指示により、ビニール袋内に催涙スプレーを噴射するなどの拷問をくわえられた。そして、教団幹部らに取り囲まれる中、X に「お前はちゃんと家に帰してやるから、心配するな。大丈夫だ。ただ、それには条件がある。お前が A を殺すことだ。それができなければ、お前もここで殺す。できるか。」と言われた甲は、ロープを A の頸部に巻き付け、殺意を持って前手錠された両手で締め付け、さらにロープの一方に右足をかけ、他方を両手で引っ張るなどして A の頸部を締め続け A を窒息死させた。

甲の罪責を論ぜよ。

参考判例:東京地裁判決平成 8 年 6 月 26 日